



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年3月12日

上場会社名 ネットワンシステムズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7518 URL <https://www.netone.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 荒井 透
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 勝村 忠雄 TEL 03-6256-0615
 四半期報告書提出予定日 2020年3月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	122,845	5.8	9,706	35.9	9,937	35.4	5,379	470.6
2019年3月期第3四半期	116,102	12.9	7,142	128.7	7,339	126.6	942	△46.5

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 5,501百万円 (422.4%) 2019年3月期第3四半期 1,052百万円 (△41.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	63.51	63.36
2019年3月期第3四半期	11.14	11.11

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	119,579	61,847	51.5	726.54
2019年3月期	118,313	59,614	50.2	702.13

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 61,551百万円 2019年3月期 59,450百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	17.00	—	20.00	37.00
2020年3月期	—	21.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	188,000	7.5	15,000	23.3	15,000	20.8	9,400	117.4	110.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	86,000,000株	2019年3月期	86,000,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,281,556株	2019年3月期	1,328,296株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	84,707,776株	2019年3月期3Q	84,654,994株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(追加情報)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(その他注記情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①市場別の受注高・売上高・受注残高

当第3四半期連結累計期間においては、引き続きセキュリティ対策及びクラウド基盤ビジネスが堅調に進捗し、受注高は1,489億78百万円（前年同四半期比13.8%増）、売上高は1,228億45百万円（前年同四半期比5.8%増）、受注残高は1,013億95百万円（前年同四半期比21.1%増）となりました。

市場別の内訳としては、エンタープライズ（E N T）市場では、セキュリティ対策、クラウド基盤、働き方改革、及び、中期事業計画で注力市場としているスマートファクトリーのビジネスが堅調に推移し、受注高が420億80百万円（前年同四半期比12.9%増）、売上高が371億44百万円（前年同四半期比3.9%増）、受注残高が265億52百万円（前年同四半期比10.4%増）となりました。

通信事業者（S P）市場では、サービス基盤ビジネスを中心として堅調に推移し、受注高が220億50百万円（前年同四半期比8.6%増）、売上高が237億9百万円（前年同四半期比1.3%減）、受注残高が125億83百万円（前年同四半期比17.6%増）となりました。受注高・売上高ともに計画値に沿って推移しています。

パブリック（P U B）市場では、注力市場のヘルスケアや教育を含め、セキュリティ対策やクラウド基盤ビジネスが堅調に推移し、受注高が470億8百万円（前年同四半期比6.0%減）、売上高が358億24百万円（前年同四半期比8.5%増）、受注残高が425億61百万円（前年同四半期比0.3%増）となりました。受注高は、不正行為による影響額を考慮しても、計画値に沿って進捗しています。

パートナー事業（ネットワークパートナーズ株式会社）では、主要パートナー向けのビジネスが堅調に推移するとともに第3四半期に5G案件が発生し、受注高が368億64百万円（前年同四半期比59.6%増）、売上高が252億98百万円（前年同四半期比10.1%増）、受注残高が194億97百万円（前年同四半期比201.2%増）となりました。

その他では、受注高が9億73百万円、売上高が8億68百万円、受注残高が2億円となりました。

②商品群別の受注高・売上高・受注残高

商品群別の内訳としては、機器商品群では、受注高が915億3百万円（前年同四半期比16.9%増）、売上高が701億47百万円（前年同四半期比5.2%増）、受注残高が395億40百万円（前年同四半期比37.2%増）となりました。

サービス商品群では、受注高が574億74百万円（前年同四半期比9.3%増）、売上高が526億98百万円（前年同四半期比6.7%増）、受注残高が618億55百万円（前年同四半期比12.7%増）となりました。

「統合サービス事業」が拡大し、サービスの受注高・売上高・受注残高が順調に増加しました。一方で、機器中心の5G案件が発生したことで、受注高・受注残高のサービス比率は低下しました。

③損益の状況

売上高及びサービス比率が増加したことにより、売上総利益は329億92百万円と、2020年2月14日に公表した通期の修正予想数値に対する進捗率（以下、修正予想進捗率）が69.2%となりました。

そして、生産性改善に努めることで販売費及び一般管理費が232億85百万円となった結果、営業利益は97億6百万円（修正予想進捗率64.7%）、経常利益は99億37百万円（修正予想進捗率66.3%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は53億79百万円（修正予想進捗率57.2%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は1,195億79百万円となり、前連結会計年度末に比べて12億65百万円の増加(1.1%増)となりました。

資産の内訳は、流動資産は1,094億56百万円となり、前連結会計年度末に比べて32億30百万円の増加(3.0%増)となりました。これは主に、たな卸資産が合計で109億65百万円増加し、一方で、受取手形及び売掛金が81億80百万円減少したことによるものです。また、固定資産は101億23百万円となり、前連結会計年度末に比べて19億64百万円の減少(16.3%減)となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は577億32百万円となり、前連結会計年度末に比べて9億67百万円の減少(1.6%減)となりました。これは主に、未払法人税等が35億60百万円、買掛金が29億10百万円、賞与引当金が28億84百万円それぞれ減少し、一方で、不正行為に関連した取引を取消処理したことで生じた債務を含む流動負債のその他が44億37百万円、前受金が36億40百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は618億47百万円となり、前連結会計年度末に比べて22億33百万円の増加(3.7%増)となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益53億79百万円の計上と、配当金の支払い34億82百万円により利益剰余金が18億94百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2020年2月14日の「2020年3月期 第3四半期業績予想、及び、2020年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,305	25,469
受取手形及び売掛金	42,928	34,748
リース投資資産	8,723	8,713
有価証券	1,999	999
商品	3,385	2,759
未着商品	416	597
未成工事支出金	10,464	21,880
貯蔵品	23	18
前払費用	13,108	13,115
その他	1,870	1,155
貸倒引当金	△1	△2
流動資産合計	106,225	109,456
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品	4,143	3,722
その他	1,097	1,006
有形固定資産合計	5,240	4,728
無形固定資産		
のれん	—	80
その他	1,434	1,518
無形固定資産合計	1,434	1,599
投資その他の資産		
投資有価証券	730	258
繰延税金資産	2,690	1,573
その他	1,991	1,989
貸倒引当金	—	△25
投資その他の資産合計	5,412	3,795
固定資産合計	12,087	10,123
資産合計	118,313	119,579

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	18,791	15,881
リース債務	4,051	4,364
未払金	1,919	1,665
未払法人税等	3,839	279
前受金	14,990	18,630
賞与引当金	3,969	1,085
役員賞与引当金	134	82
資産除去債務	19	—
その他	2,191	6,629
流動負債合計	49,906	48,617
固定負債		
リース債務	8,391	8,454
資産除去債務	396	612
その他	5	48
固定負債合計	8,793	9,115
負債合計	58,699	57,732
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,279	12,279
資本剰余金	19,475	19,503
利益剰余金	28,676	30,570
自己株式	△1,044	△1,007
株主資本合計	59,387	61,346
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	0
繰延ヘッジ損益	61	210
為替換算調整勘定	—	△5
その他の包括利益累計額合計	62	205
新株予約権	163	180
非支配株主持分	—	115
純資産合計	59,614	61,847
負債純資産合計	118,313	119,579

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	116,102	122,845
売上原価	86,264	89,853
売上総利益	29,838	32,992
販売費及び一般管理費	22,695	23,285
営業利益	7,142	9,706
営業外収益		
受取利息	0	0
関係会社業務受託収入	68	143
販売報奨金	75	47
団体保険配当金	64	69
その他	35	105
営業外収益合計	244	366
営業外費用		
支払利息	38	53
為替差損	—	10
不正取引調査費用	—	58
その他	8	12
営業外費用合計	47	135
経常利益	7,339	9,937
特別損失		
固定資産除却損	15	2
不正取引関連損失	3,899	1,124
特別損失合計	3,914	1,127
税金等調整前四半期純利益	3,425	8,810
法人税、住民税及び事業税	1,972	2,370
法人税等調整額	510	1,075
法人税等合計	2,482	3,446
四半期純利益	942	5,364
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△15
親会社株主に帰属する四半期純利益	942	5,379

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	942	5,364
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△0
繰延ヘッジ損益	109	149
為替換算調整勘定	—	△11
その他の包括利益合計	110	136
四半期包括利益	1,052	5,501
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,052	5,522
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△20

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

不正取引に関する事項

当社は、東京国税局による税務調査の過程で、当社の一部取引について納品の事実が確認できない疑義があるとの指摘を受けたため、2019年12月13日、当該指摘に係る事実関係の解明等を目的とした特別調査委員会を設置し、特別調査委員会の2020年3月12日付最終調査報告書に記載された調査結果から、2014年12月以降、納品実体のない取引が繰り返し行われていたことを認識するに至りました。不正行為に関連した取引を取消処理したことで生じた債務3,757百万円は「流動負債のその他」に含めて表示し、債権については特別損失を計上しております。なお、当該不正取引に関与した各社間での清算は完了していないため、今後の状況によっては、当社の財政状態や経営成績に影響を与える可能性があります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	ENT 事業	SP 事業	PUB 事業	パートナ ー事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	35,766	24,017	33,032	22,982	115,797	304	116,102	—	116,102
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	0	—	—	0	0	112	112	△112	—
計	35,766	24,017	33,032	22,982	115,797	416	116,214	△112	116,102
セグメント利益	1,781	2,509	1,467	1,724	7,482	132	7,615	△473	7,142

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、サーバサービス事業等を含んでおります。
2. セグメント利益(営業利益)の調整額△473百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△473百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	ENT 事業	SP 事業	PUB 事業	パートナ ー事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	37,144	23,709	35,824	25,298	121,977	868	122,845	—	122,845
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	5	2	5	2	16	10	27	△27	—
計	37,150	23,712	35,829	25,300	121,993	879	122,872	△27	122,845
セグメント利益 又は損失(△)	3,739	2,031	2,104	2,483	10,359	△0	10,358	△652	9,706

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、サーバサービス事業等を含んでおります。
2. セグメント利益(営業利益)の調整額△652百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△652百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

(その他注記情報)
 (四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
給与手当	7,999百万円	8,090百万円
賞与引当金繰入額	1,455	884
役員賞与引当金繰入額	95	83
退職給付費用	484	487
賃借料	2,057	2,288
減価償却費	957	1,026
のれん償却額	15	84